

鯨組主中尾家屋敷開館5周年記念

# 呼子鯨文化祭

## 肥前呼子の鯨組主 中尾家



「小川島鯨合戦図案」(個人蔵)

展 示 平成28年9月17日(土)～12月6日(火)

場所： 鯨組主中尾家屋敷 勘定場2階

### 講演会と座談会

日時： 平成28年9月18日(日) 午後1時半～4時

場所： 鯨組主中尾家屋敷 勘定場2階 **講演会入場無料** ※中尾家屋敷内の観覧には別に入場料が必要となります。

講演：「鯨組主 中尾家の資料について」 八幡崇経(呼子鯨組代表)

座談会：「呼子と中尾家～世代を超えて伝えられて来た事～」

中尾吉臣(14代当主)・中尾 清(小倉屋)

「小川島鯨骨切り唄」公演 小川島鯨骨切り唄保存会

唐津市のがんばる地域応援事業の補助を受けています。

主催 呼子鯨文化祭実行委員会

後援 唐津市教育委員会・呼子町文化連盟

お問い合わせ 鯨組主 中尾家屋敷 佐賀県唐津市呼子町呼子 3750 番地 3 0955-82-0309



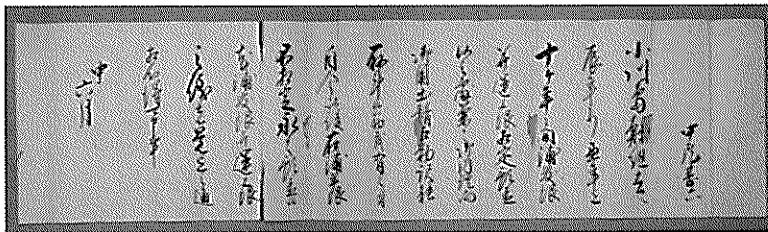
## 鯨組主中尾家屋敷 開館5周年記念展示

# — 肥前呼子の鯨組主 中尾家 —

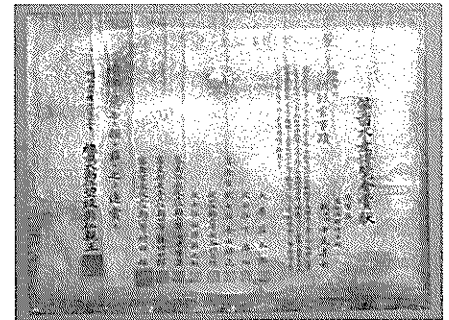
平成23年4月にオープンした鯨組主中尾家屋敷では、開館5周年を記念し「肥前呼子の鯨組主 中尾家」をテーマとして記念展示と講演会などを開催します。

中尾家は波多三河守の家臣であったと伝えられ、波多家の没落後呼子に移住し漁業や捕鯨を主導し五島での操業などを経て、鯨組の組織を確固とするものになったと考えられます。今から300年前の正徳元年(1711)のことととされています。現在に残る関連の史跡や中尾家屋敷とその周辺の海岸線を何度も埋め立てられた土地には、次第に組織を拡大していった捕鯨業の足跡をみることができます。

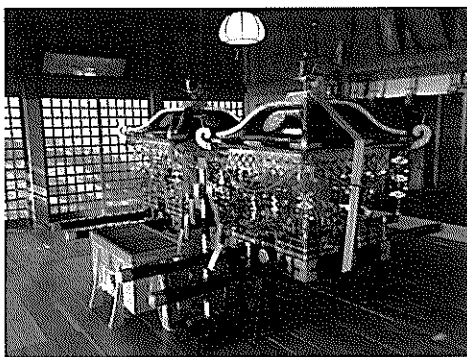
今回、中尾家より市へ寄託いただいている文書類をはじめ、町内に残る関連する資料により、中尾家の繁栄とその歴史をたどります。また、中尾家の操業を詞文に絵を交えて記された「小川島鯨鯨合戦」の諸本を展示して中尾家の捕鯨業についても考えてみたいと思います。



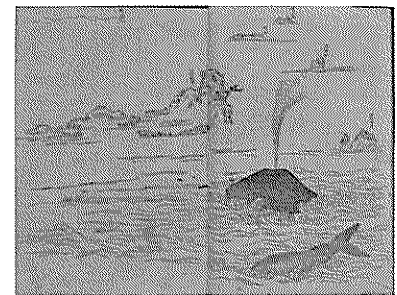
中尾家文書〔捕鯨業〕免状〔申6月〕



中尾家文書「第2回水産博覧会賞状」(明治20年)



パネル展示 「三代中尾甚六寄進神輿」(明和8年1771 大坂宮屋製)



「小川島の賦」(白芝山画 寛政11年1799)

### 【展示資料】

中尾家文書(「過去帳」「鯨組要用記」「小川鯨組一切記」「小児の弄鯨一件の巻」「小川島捕鯨調査書」  
「第2回水産博覧会賞状」  
「松隈文書」「小川島の賦」「小川島鯨鯨合戦」  
「船座山口家の和船大工道具」「和船設計図」「八幡神社本殿戸帳」「同本殿再建棟札」「同拝殿奉加帳」  
「中尾甚六茂雅奉納鰐口」「御絵伝箱」「大般若経」ほか

### 【協力】

中尾吉臣, 中尾順司, 中尾清, 唐津市教育委員会, 九州大学芸術工学図書館, 佐賀県立博物館  
佐賀県立図書館, 玄海町教育委員会, 山口善司, 伊藤洋一郎, 呼子八幡神社, 願海寺, 龍昌院